2024年度成果報告書作成要領

**Guidelines of Progress Report**

開放研一#,A), 東海花子A), 高崎太郎B),

Ken’ichi Kaiho #,A), Hanako Tokai A), Taro Takasaki B)

A) Inter-University Laboratory for the Common Use of Nuclear Facilities

B) One of Nuclear Facilities

Abstract

This template was prepared in order to describe a paper in Japanese. If you write texts in this .docx file directly, you can complete a paper easily by MS-Word. When you change the completed paper into PDF, please be sure to embed all the fonts.

*Keyword*: guideline, layout, font

1．はじめに

　継続課題にかかわらず、毎年度、報告書を提出していただきます。

報告書は、ホームページで公開されますので、著作権についてはご留意いただきたく存じます。

2．原稿の書式と書き方

2.1　用紙

用紙の大きさはA4、本文は2段組（2カラム）、枚数は1枚以上とします。

2.2　スタイルと使用フォント

フォントは、図を含めて、できる限りMS明朝、MSゴシック、Times New RomanまたはTimes、Symbolに限定してお使い下さい。

2.3　論文題名・著者・要旨

論文題名および著者名は、日本語英語併記となります。ただし、著者所属および要旨は、英文のみです。書式は以下の通りです。

* 日本語論文題名はゴシック14pt、すぐ次の行に英語論文題名を**太字12pt**。
* 日本語著者名、英語著者名、英語所属機関名の順に、それぞれを改行で区切り、頭文字のみ大文字。フォントサイズは10pt。
* 所属機関の所在地は不要。
* 所属機関が複数の場合は、A, Bのように参照記号を振り、スタイル「著者上付記号」を設定。
* 代表者の電子メールアドレスを脚注に記載する場合は、例のように上付参照記号 \*, #, † 等を付けて、フッター内にアドレスを記入。
* 要旨は英語で記述し、イタリックで *Abstract* と見出しをつける。
* *Keyword*とイタリックで見出しを付け、コロンの後にキーワードとなる単語を英語で記入する。

2.4　本文

本文は2段組で記述します。フォントは、10ptのMS明朝を使用してください。必要に応じて、MSゴシックを適宜使用してください。ただし英数字はTimesまたはTimes New Romanを使用してください。

2.5　章・節の見出し

各章の見出し、節の見出しには必ず番号を付けてください。見出しのフォントはMSゴシック12ptを、小見出しはMS明朝10ptをお使いください。

2.6　図表の挿入

図表の説明文（キャプション）は英語で記述して下さい。図及び表の中身についても、できる限り英語で記述して下さい。

* 表のタイトルは前置詞を除く各単語の最初は大文字、文末のピリオドは不要。
* 図の説明文の文末にはピリオドが必要。
* 図や表のタイトルの配置は、それが1行に収まる場合はセンタリング（スタイルは「図/表タイトル1行」）、2行以上は両端揃え（スタイルは「図/表タイトル複数行」）。

|  |
| --- |
|  |
| Figure 1. The number of monthly users. |

2.8　文献参照と文献リスト

参照する文献には通し番号を振り、上付きのカギ括弧で囲んでください[ 1]。

参考文献は、9ptのMS明朝、英文の場合はTimesで記載してください。

電子出版されている文献については、URLを記してください[2]。ただし、URLにハイパーリンクは設定しないでください。

3．原稿の仕上げ

3.1　チェック項目

* 章や図表を参照する番号は正しいか。
* 参考文献番号は正しいか。
* 環境依存文字の使用で文字化けがないか。
* 原稿のデータサイズが大きくないか。（目安として10MB以下）

3.2　PDFへの変換

PDF変換の際は、必ず全てのフォントを埋め込んで変換してください。PDFファイルにフォントが埋め込まれているかどうかは、Adobe Readerなどで文書のプロパティを見れば確認できます。

参考文献

[1] H.Kobayashi, et al., “リニアック技術研究会論文投稿要領”, Proceedings of the 26th Linear Accelerator Meeting in Japan, Tsukuba, Aug. 1-3, 2001

[2] http://www.tokai.t.u-tokyo.ac.jp/kyodo/kaihoken/ index.html